

	学校だより第2号 令和7年5月15日 上越市立城西中学校	啐（そつ）とは、鳥が卵からかえるとき、殻の中で雛が鳴くこと。啄（たく）とは、親鳥が外から殻をつつくこと。両者相呼応した、逃すべからざる好機をいう。当校では、啐啄の精神から大きな成果が生まれると考え、職員玄関に掲額している。
---	------------------------------------	---

45年間変わらない「教育目標」 変わり続ける「目指す生徒の姿」

令和7年度城西中学校 教育目標 「高い知性 敬愛の心 強健な身体」

学校沿革誌にあたったところ、この教育目標は、昭和55年から一度も変更されることなく引き継がれていることが分かりました。昭和55年といえば、任天堂からゲームウォッチが発売された年です。当時小学生だった私は、姉とお年玉を出し合って購入した懐かしい思い出があります。それから45年、その機能やデザインなどから急速な科学技術や世界経済、流通の革新・進化を見て取ることができます。また、何よりも時代とともに年齢を重ねたことを痛感します。

城西中学校の教育目標が45年間変わらなかったのは、人間形成に必要とされる「知・徳・体」が三つのフレーズで明解に表されているとともに、時代の流れに左右されない教育の本質が表現されているからこそと思います。改めて城西中学校の伝統と教育理念の奥深さに感銘を受けました。

一方、今年度の「目指す生徒の姿」を次のように設定しています。

目指す生徒の姿

- ・粘り強く学習に取り組む生徒
- ・計画的、継続的に学習する生徒
- ・多様な生き方や考えを受け入れることができる生徒
- ・認め合う、高め合う生徒
- ・困難に立ち向かえる健康な心身をもつ生徒
- ・自分の生活を調整し、心身ともに健康な状態をつくることのできる生徒



これらは、社会情勢や国や県、市の教育の動向、生徒の実態をもとに毎年検討し、毎年のように改訂しています。城西中学校の生徒たちが予測不能で急速に変化する時代（今現在と将来）の中で、他者を尊重し、多様な人たちと協働しながら様々な困難を乗り越え、皆の幸せをつくっていく力が必要と考え、今年度はこれら6つの姿を設定しました。

今後、城西中学校生徒が多くの場面でこのような姿を表出することができるよう、チーム担任制の活用、校内教育支援センターの充実、授業改善、集団づくり、運動機会の確保、食育の推進をはじめ、全教育活動に取り組んでまいります。

保護者、地域の皆様、手を取り合って協働し、宝である城西中学校の生徒たちが健やかに成長していくことを心から願っています。どうぞよろしくお願いいたします。

校長 保坂 修

生徒会入会式・オリエンテーション

4月11日（金）、新1年生を迎えて、生徒会入会式・オリエンテーションが行われました。リーダーによる委員会や部活動の紹介があり、1年生は真剣な態度で説明を聞いていました。城西中学校生徒会の一員としての活躍を期待しています。



仲間づくり遠足

国立妙高青少年自然の家

制作活動や野外調理、オリエンテーリングや各学年級長会の工夫を凝らしたレクリエーションなど、学年ごとに様々な活動を行いました。どの学年も笑顔が多く見られた一日となりました。

1学年**2学年****3学年**

6月の予定

- 2日（月）オープンスクール（～6日）
- 3日（火）歯科検診（1～3年）
- 10日（火）地区大会（給食なし）
- 11日（水）地区大会（給食なし）
- 16日（月）地区大会（給食なし）

20日（金）地区大会（給食なし）

21日（土）地区大会

24日（火）高校説明会①

26日（木）高校説明会②

27日（金）学習確認テスト②（1日目）

30日（月）学習確認テスト②（2日目）

**スクールカウンセラー6月の訪問日・・・5日（水）19日（水）26日（水）**